

# 静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

|              |   |            |    |                      |
|--------------|---|------------|----|----------------------|
| ① 対象者        | 2002年9月12日から2014年12月31日までに3cm以下かつ3個以内の肝細胞癌に対し、外科切除もしくはラジオ波焼灼術が行われた199症例   |            |    |                      |
| ② 研究課題名      | 3cm以下かつ3個以内の肝細胞癌に対するPropensity score matchingを用いた肝部分切除とラジオ波焼灼術の比較検討   |            |    |                      |
| ③ 実施予定期間     | 2018年2月～2018年12月  |            |    |                      |
| ④ 実施機関       | 静岡県立静岡がんセンター  |            |    |                      |
| ⑤ 研究代表者      | 氏名  | 岡村行泰       | 所属 | 静岡県立静岡がんセンター肝・胆・膵外科  |
| ⑥ 当院の研究代表者   | 氏名  |            | 所属 |                      |
| ⑦ 使用する検体・データ | 診療録   |            |    |                      |
| ⑧ 目的         | 肝癌診療ガイドラインでは、3cm以下かつ3個以内の肝細胞癌（HCC）に対する治療として肝切除もしくはラジオ波焼灼療法（RFA）が推奨されています。RFAが肝切除より患者さんに負担や侵襲が少ないのは明らかですが、治療成績が同等かは明らかではありません。今回、これらを明らかにするため、年齢、肝機能、腫瘍径などをpropensity score matching（PSM）という方法を用いて均等化した後、各治療間の比較検討を行います。 |            |    |                      |
| ⑨ 方法         | 診療録より必要な情報を収集し、以下について評価を行います。<br>肝切除群とRFA群において治療後全生存率、無再発生存率、在院日数、術後合併症について比較検討を行います。また、腫瘍、肝機能を考慮した治療選択を可能とするため、各治療群の予後因子を抽出します。  |            |    |                      |
| ⑩ 倫理審査       | 倫理審査委員会承認日  | 2018年2月27日 |    |                      |
| ⑪ 公表         | 研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。  |            |    |                      |
| ⑫ プライバシー     | 本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。  |            |    |                      |
| ⑬ 知的財産権      | 知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。  |            |    |                      |
| ⑭ 利益相反       | 本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。   |            |    |                      |
| ⑮ 資料の参照      | 本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。   |            |    |                      |
| ⑯ お問い合わせ     | 連絡先   | 臨床研究事務局    | 電話 | 055-989-5222（内線3379） |
|              | 事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。<br>後日、あらためて研究者より直接回答いたします。   |            |    |                      |

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。